

作成年月日	平成26年8月25日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

県民モニター「第2回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

調査テーマ：「ひょうごの緑化と総合治水の取組について」

- (1) 調査対象者：県民モニター2,118人
- (2) 調査期間：平成26年6月12日(木)
～6月25日(水)[14日間]
- (3) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (4) 回答者数：1,431人(回答率67.6%)

<参考－対象者及び回答者属性>

	対象者	回答者	回答率
総数	2,118	1,431	67.6%
性別	男性	798	73.0%
	女性	633	61.8%
年代別	10～20代	73	44.8%
	30代	194	56.2%
	40代	277	62.5%
	50代	261	71.5%
	60代	384	78.2%
	70代以上	242	77.8%

2 調査結果の概観

(1) ひょうごの緑化について

項目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察																								
緑に対する認識	<p>○緑(樹木や草花)への関心</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても関心がある</td> <td>39.3%</td> </tr> <tr> <td>関心がある</td> <td>50.3%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>あまり関心がない</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>関心がない</td> <td>0.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○住まいや職場、学校など身近な緑の満足度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>まあ満足</td> <td>51.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>18.6%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>12.2%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>4.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	割合	とても関心がある	39.3%	関心がある	50.3%	どちらともいえない	6.8%	あまり関心がない	3.1%	関心がない	0.4%	区分	割合	満足	13.5%	まあ満足	51.6%	どちらともいえない	18.6%	やや不満	12.2%	不満	4.2%	<p>緑への関心について「とても関心がある」と「関心がある」を合わせると約9割になり、緑に対する関心の高さがうかがえる。</p> <p>また、身近な緑について「満足」、「まあ満足」と回答した人が約65%を占める一方、「不満」、「やや不満」と回答した人が16.4%となっている。</p>
区分	割合																									
とても関心がある	39.3%																									
関心がある	50.3%																									
どちらともいえない	6.8%																									
あまり関心がない	3.1%																									
関心がない	0.4%																									
区分	割合																									
満足	13.5%																									
まあ満足	51.6%																									
どちらともいえない	18.6%																									
やや不満	12.2%																									
不満	4.2%																									
今後、大切に残したい緑	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>近くの公園の緑</td> <td>49.8%</td> </tr> <tr> <td>街路樹など道路沿いの緑</td> <td>48.4%</td> </tr> <tr> <td>山林の緑</td> <td>37.5%</td> </tr> <tr> <td>神社やお寺などの緑</td> <td>32.0%</td> </tr> <tr> <td>河川や海岸沿いの緑</td> <td>24.2%</td> </tr> <tr> <td>田園の緑</td> <td>21.3%</td> </tr> <tr> <td>生垣や低木などの住宅地の緑</td> <td>20.1%</td> </tr> <tr> <td>ビオトープなどの生き物が集まる緑</td> <td>18.9%</td> </tr> <tr> <td>大規模な公園の緑</td> <td>18.4%</td> </tr> <tr> <td>会社や工場などの緑</td> <td>8.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	割合	近くの公園の緑	49.8%	街路樹など道路沿いの緑	48.4%	山林の緑	37.5%	神社やお寺などの緑	32.0%	河川や海岸沿いの緑	24.2%	田園の緑	21.3%	生垣や低木などの住宅地の緑	20.1%	ビオトープなどの生き物が集まる緑	18.9%	大規模な公園の緑	18.4%	会社や工場などの緑	8.2%	<p>「近くの公園の緑」と「街路樹など道路沿いの緑」が約5割と高くなっており、暮らしに近いところにある緑を大切にしたいと考えている人が多い状況となっている。</p> <p>これらの緑を持続させるためには、行政だけでなく、緑への関心がある人が多数(9割近く)いることから、地域住民の参画により、地域で支えていくことも必要である。</p>		
区分	割合																									
近くの公園の緑	49.8%																									
街路樹など道路沿いの緑	48.4%																									
山林の緑	37.5%																									
神社やお寺などの緑	32.0%																									
河川や海岸沿いの緑	24.2%																									
田園の緑	21.3%																									
生垣や低木などの住宅地の緑	20.1%																									
ビオトープなどの生き物が集まる緑	18.9%																									
大規模な公園の緑	18.4%																									
会社や工場などの緑	8.2%																									

<p>これまでに関わったことのある緑化活動。また、これから関わってみたい緑化活動</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>関わったことがある</th> <th>これから関わりたい</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自宅でのガーデニング</td> <td>70.6%</td> <td>57.0%</td> <td>△13.6%</td> </tr> <tr> <td>公園、公共施設、街路等での植樹や維持管理</td> <td>22.9%</td> <td>28.2%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>園芸関係の勉強や講習会等への参加</td> <td>22.6%</td> <td>36.1%</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>植樹イベントへの参加</td> <td>14.0%</td> <td>26.1%</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td>山林や自然林の保全活動</td> <td>12.6%</td> <td>32.7%</td> <td>20.1%</td> </tr> <tr> <td>苗木の育苗活動</td> <td>9.3%</td> <td>19.3%</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>したことがない</td> <td>13.5%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	関わったことがある	これから関わりたい	差引	自宅でのガーデニング	70.6%	57.0%	△13.6%	公園、公共施設、街路等での植樹や維持管理	22.9%	28.2%	5.3%	園芸関係の勉強や講習会等への参加	22.6%	36.1%	13.5%	植樹イベントへの参加	14.0%	26.1%	12.1%	山林や自然林の保全活動	12.6%	32.7%	20.1%	苗木の育苗活動	9.3%	19.3%	10.0%	したことがない	13.5%	—	—	<p>関わったことがある緑化活動は、個人で行う「自宅でのガーデニング」が突出しており、地域団体等組織的な取組を前提とした項目が低くなっている。</p> <p>しかしながら、「自宅でのガーデニング」以外の項目は関わったことのある人の割合は低いものの、いずれも活動意欲のある人の割合は高くなっている。</p> <p>こうした活動に関わってみたい人を、実際の行動へと結びつけていくため、市町や緑化団体等とも連携し、地域の緑化活動への参加の呼びかけや、取組状況の紹介など、積極的に行っていく必要がある。</p>
	区分	関わったことがある	これから関わりたい	差引																														
	自宅でのガーデニング	70.6%	57.0%	△13.6%																														
	公園、公共施設、街路等での植樹や維持管理	22.9%	28.2%	5.3%																														
	園芸関係の勉強や講習会等への参加	22.6%	36.1%	13.5%																														
	植樹イベントへの参加	14.0%	26.1%	12.1%																														
	山林や自然林の保全活動	12.6%	32.7%	20.1%																														
	苗木の育苗活動	9.3%	19.3%	10.0%																														
したことがない	13.5%	—	—																															
<p>地域の緑を守り育てる活動における課題</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化資材や維持管理に係る活動費用の捻出</td> <td>60.9%</td> </tr> <tr> <td>人員の確保</td> <td>49.3%</td> </tr> <tr> <td>行政の支援</td> <td>48.0%</td> </tr> <tr> <td>植物の適正な育成にかかる専門的知識</td> <td>46.1%</td> </tr> <tr> <td>後継者の育成</td> <td>37.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	割合	緑化資材や維持管理に係る活動費用の捻出	60.9%	人員の確保	49.3%	行政の支援	48.0%	植物の適正な育成にかかる専門的知識	46.1%	後継者の育成	37.6%	<p>「緑化資材や維持管理にかかる活動費用の捻出」の割合が半数を超え、「人員の確保」、「行政の支援」、「植物の適正な育成にかかる専門的知識」が続いている。</p> <p>緑化活動の継続へ向けた資材提供等の支援や、人材育成への支援、緑化技術の向上などへの支援が求められている。</p>																				
区分	割合																																	
緑化資材や維持管理に係る活動費用の捻出	60.9%																																	
人員の確保	49.3%																																	
行政の支援	48.0%																																	
植物の適正な育成にかかる専門的知識	46.1%																																	
後継者の育成	37.6%																																	
<p>街なかの緑が持つ重要と思う機能</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見る人の心をなごませる</td> <td>55.6%</td> </tr> <tr> <td>景観を美しくする</td> <td>53.0%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素を吸収し地球温暖化を防止する</td> <td>49.2%</td> </tr> <tr> <td>気温上昇（ヒートアイランド現象）を抑える</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>多様な生き物の生息環境を提供する</td> <td>34.1%</td> </tr> <tr> <td>夏季に涼しさを感じさせる</td> <td>24.5%</td> </tr> <tr> <td>火災の延焼防止など災害を防ぐ</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>周りの騒音を小さくする</td> <td>4.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	割合	見る人の心をなごませる	55.6%	景観を美しくする	53.0%	二酸化炭素を吸収し地球温暖化を防止する	49.2%	気温上昇（ヒートアイランド現象）を抑える	44.4%	多様な生き物の生息環境を提供する	34.1%	夏季に涼しさを感じさせる	24.5%	火災の延焼防止など災害を防ぐ	15.2%	周りの騒音を小さくする	4.8%	<p>緑が持つ機能のうち「見る人の心をなごませる」、「景観を美しくする」といった視覚・心理的な機能を重視する人の割合が比較的高い。</p> <p>県民まちなみ緑化事業をはじめ、緑化の専門家による景観面等も含めた技術的助言、地域の緑化リーダーの養成など、地域の緑を良質に維持していくための取組を、さらに推進していく必要がある。</p>														
区分	割合																																	
見る人の心をなごませる	55.6%																																	
景観を美しくする	53.0%																																	
二酸化炭素を吸収し地球温暖化を防止する	49.2%																																	
気温上昇（ヒートアイランド現象）を抑える	44.4%																																	
多様な生き物の生息環境を提供する	34.1%																																	
夏季に涼しさを感じさせる	24.5%																																	
火災の延焼防止など災害を防ぐ	15.2%																																	
周りの騒音を小さくする	4.8%																																	

街なかの緑化を進めていくべきところ	区分	割合	<p>「街路樹など沿道」、「公園」、「学校、幼稚園、保育園などの校庭・園庭」など身近な公共空間の緑化に対する期待が高い。</p> <p>また「工場、事業所、商業施設」、「家の庭や生垣」、「集合住宅やオフィスビルなどの屋上や壁面」とする回答も3割前後を占めており、街なかのさまざまな箇所の緑化にも関心があることがうかがえる。</p> <p>引き続き、県民まちなみ緑化事業の利活用の推進を図り、県民や事業所などを巻き込んだ地域の緑化活動を推進していく必要がある。</p>
	街路樹など沿道の緑化	62.0%	
	公園の緑化	44.7%	
	学校、幼稚園、保育園などの校庭・園庭の芝生化や緑化	33.9%	
	工場、事業所、商業施設などの敷地内を緑化	32.1%	
	家の庭や生垣の緑化	26.6%	
	集合住宅やオフィスビルなどの屋上や壁面を緑化	26.1%	
	アスファルト舗装等の駐車場を芝生化	22.6%	
	官公庁など公共施設の緑化	17.6%	
街なかの緑化を進めるために、行政に望む取組	区分	割合	<p>「県民の緑化活動に対する資材提供や資金面での支援」、「企業やボランティア団体等の緑化活動に対する資材提供や資金面での支援」が上位となっている。地域の中で緑を維持管理していくための資材や資金のさらなる支援を求める傾向がうかがえる。</p> <p>一方で、「緑を守り育てる活動を行う人材の育成」、「緑化に関するイベントや広報活動による啓発」といった人材育成や普及啓発への期待の声も大きい。</p> <p>今後も、県民まちなみ緑化事業や緑化基金等を活用した支援を継続していくとともに、自立的に地域の緑化活動を推進できるよう、人材の養成等に取り組んでいく必要がある。</p>
	県民の緑化活動に対する資材提供や資金面での支援	59.5%	
	緑を守り育てる活動を行う人材の育成	54.6%	
	企業やボランティア団体等の緑化活動に対する資材提供や資金面での支援	46.8%	
	緑化に関するイベントや広報活動による啓発	39.0%	
	法律や条例による開発の制限（緑地保全地域の指定等）	34.9%	
	県民の緑化活動に対する指導・助言	30.9%	
	優れた緑化活動に対する表彰	10.3%	

※ アンケート結果は、ひょうご花緑創造プランの改訂や今後の花緑施策の検討材料として役立てる。

(2) 総合治水の取組について

項目	アンケート結果(主な意見)		結果の考察														
「総合治水」の認知度	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 286 703 353">区分</th> <th data-bbox="711 286 799 353">H26.6</th> <th data-bbox="807 286 895 353">H26.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 353 703 409">内容も含め知っている</td> <td data-bbox="711 353 799 409">13.7%</td> <td data-bbox="807 353 895 409">6.7%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 409 703 544">言葉は見聞きしたことがあるが、内容は知らない</td> <td data-bbox="711 409 799 544">48.4%</td> <td data-bbox="807 409 895 544">27.4%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 544 703 600">知らない</td> <td data-bbox="711 544 799 600">37.9%</td> <td data-bbox="807 544 895 600">65.8%</td> </tr> </tbody> </table>		区分	H26.6	H26.1	内容も含め知っている	13.7%	6.7%	言葉は見聞きしたことがあるが、内容は知らない	48.4%	27.4%	知らない	37.9%	65.8%	<p>認知度は前回結果から倍増し、広報等による一定の成果がうかがえる。</p> <p>内容まで知っている人は13.7%にとどまっていることから、今後とも、総合治水の内容について、県の具体的取組や効果等も示し、わかりやすく周知していく必要がある。</p> <p>〔例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭貯留状況の画像配信など「効果の見える化」 ・貯留効果を伝えるジオラマ模型を使った出前講座、その映像や記事を用いた二次広報 		
区分	H26.6	H26.1															
内容も含め知っている	13.7%	6.7%															
言葉は見聞きしたことがあるが、内容は知らない	48.4%	27.4%															
知らない	37.9%	65.8%															
「総合治水」を知った媒体	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 813 754 880">区分</th> <th data-bbox="762 813 895 880">割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 880 754 958">行政(国、県、市町)の広報パンフレット</td> <td data-bbox="762 880 895 958">35.9%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 958 754 1003">新聞記事</td> <td data-bbox="762 958 895 1003">22.2%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1003 754 1048">インターネット</td> <td data-bbox="762 1003 895 1048">13.5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1048 754 1104">テレビ・ラジオ</td> <td data-bbox="762 1048 895 1104">9.9%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1104 754 1149">ポスター</td> <td data-bbox="762 1104 895 1149">2.8%</td> </tr> </tbody> </table>		区分	割合	行政(国、県、市町)の広報パンフレット	35.9%	新聞記事	22.2%	インターネット	13.5%	テレビ・ラジオ	9.9%	ポスター	2.8%	<p>「行政の広報」が35.9%と最も高く、行政広報物の啓発効果の高さがうかがえる。</p> <p>マスメディアでは「新聞」が最も高く、「インターネット」、「テレビ・ラジオ」と続いている。</p> <p>今後とも、行政広報物をはじめインターネット(即時性)、テレビ・ラジオ(話題性)、紙媒体(保存性)などの各種媒体の特色を活かして、さらに効果的かつ積極的な広報活動を行っていく必要がある。</p>		
区分	割合																
行政(国、県、市町)の広報パンフレット	35.9%																
新聞記事	22.2%																
インターネット	13.5%																
テレビ・ラジオ	9.9%																
ポスター	2.8%																
「総合治水」に必要な行政の取組(ハード対策)	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 1283 754 1350">区分</th> <th data-bbox="762 1283 895 1350">割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 1350 754 1417">山の手入れや植林による森林の保水力の向上</td> <td data-bbox="762 1350 895 1417">57.2%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1417 754 1518">雨水を地面に浸み込みやすくする透水性舗装や緑地の整備</td> <td data-bbox="762 1417 895 1518">42.0%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1518 754 1585">川をあふれさせないための河川・ダムを整備</td> <td data-bbox="762 1518 895 1585">36.7%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1585 754 1686">学校や校庭や公共施設の敷地を利用した大雨の一時貯留施設の整備</td> <td data-bbox="762 1585 895 1686">21.9%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1686 754 1798">水田や農業用ため池を利用した大雨の一時貯留施設の整備</td> <td data-bbox="762 1686 895 1798">19.1%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1798 754 1910">洪水時でも浸水しないための公共施設(病院等)のかさ上げ等の工事</td> <td data-bbox="762 1798 895 1910">6.6%</td> </tr> </tbody> </table>		区分	割合	山の手入れや植林による森林の保水力の向上	57.2%	雨水を地面に浸み込みやすくする透水性舗装や緑地の整備	42.0%	川をあふれさせないための河川・ダムを整備	36.7%	学校や校庭や公共施設の敷地を利用した大雨の一時貯留施設の整備	21.9%	水田や農業用ため池を利用した大雨の一時貯留施設の整備	19.1%	洪水時でも浸水しないための公共施設(病院等)のかさ上げ等の工事	6.6%	<p>山や森林の保全、地面の透水性など、県土が本来有する保水機能の向上に対する期待が上位に挙がっている。</p> <p>校庭、水田、ため池等による雨水貯留について取組が必要との回答が少なかったことから、今後は、その効果をわかりやすく説明し、貯留の取組への理解が広がるよう働きかけていく必要がある。</p>
区分	割合																
山の手入れや植林による森林の保水力の向上	57.2%																
雨水を地面に浸み込みやすくする透水性舗装や緑地の整備	42.0%																
川をあふれさせないための河川・ダムを整備	36.7%																
学校や校庭や公共施設の敷地を利用した大雨の一時貯留施設の整備	21.9%																
水田や農業用ため池を利用した大雨の一時貯留施設の整備	19.1%																
洪水時でも浸水しないための公共施設(病院等)のかさ上げ等の工事	6.6%																

「総合治水」に必要な行政の取組（ソフト対策）	区分	割合	<p>ハザードマップ等の地域の危険情報や災害時の避難情報など、情報提供に対する期待が上位を占めている。</p> <p>今後とも、県のHP等において、的確でわかりやすい情報提供に努めるとともに、雨水タンク設置に対する市町の助成制度の周知など、県民の取組につながる広報活動に努めていく必要がある。</p>
	洪水ハザードマップ等による地域の危険な箇所や避難経路等の日頃からの周知	63.3%	
	災害時の河川の水位・カメラ画像や避難勧告等、避難に必要な情報の的確伝達	55.8%	
	防災に関する知識を高める防災学習等の推進	25.4%	
	雨水タンク設置等の取組を行う人への補助金や減税制度による支援	19.2%	
	大雨を想定した避難訓練等の充実	17.7%	
水害に備え自分や家族をまもるために活動すべき主体	区分	割合	<p>半数以上が、水害への備えを自分の問題として捉えており、自助意識は高い事がうかがえる。</p> <p>今後とも、効果的な取組事例の紹介や、防災のための的確な情報提供などを通じ、県民の高い自助意識を実際の自主的な取組につなげていく必要がある。</p>
	自分や家族	54.6%	
	市町など身近な自治体	21.2%	
	町内会や自治会、水防団など地域の団体	16.1%	
	国や、県など広域な自治体	6.4%	
自分でもできると思う「総合治水」の取組	区分	割合	<p>浸水範囲や避難所の確認、災害時の情報把握など、費用等の負担が少ないソフト対策が上位となっている。</p> <p>今後とも、的確な情報提供に努めることはもとより、費用負担が伴う取組についても、その有効性を周知していく必要がある。</p>
	自宅や事業所周辺の浸水範囲や避難所の確認	70.2%	
	災害時の、降雨や水位の情報の把握	55.8%	
	大雨や洪水を想定した避難訓練への参加	43.7%	
	雨水をためる設備（家庭用雨水タンクなど）の設置	33.3%	
	水害に備えた保険（兵庫県のフェニックス共済など）への加入	21.2%	
	自宅や事業所を水害から守る耐水化	14.7%	

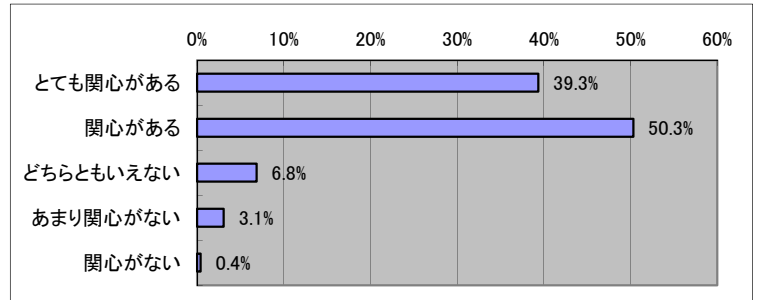
※ アンケート結果は、今後の総合治水の周知と具体的な施策の検討に活用する。

3 調査結果

【緑への関心等について】

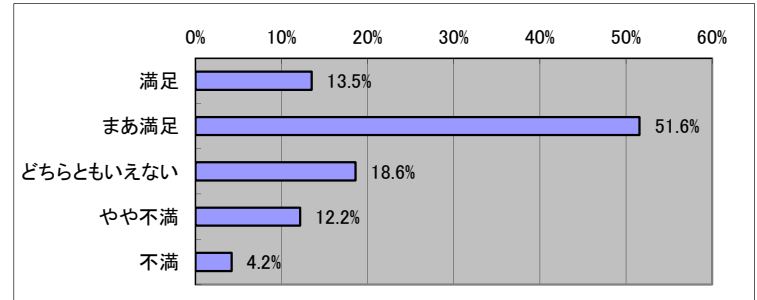
Q1 緑(樹木や草花)に関心があるか。(1つ選択)

- | | |
|---------------|-------|
| (1) とても関心がある | 39.3% |
| (2) 関心がある | 50.3% |
| (3) どちらともいえない | 6.8% |
| (4) あまり関心がない | 3.1% |
| (5) 関心がない | 0.4% |



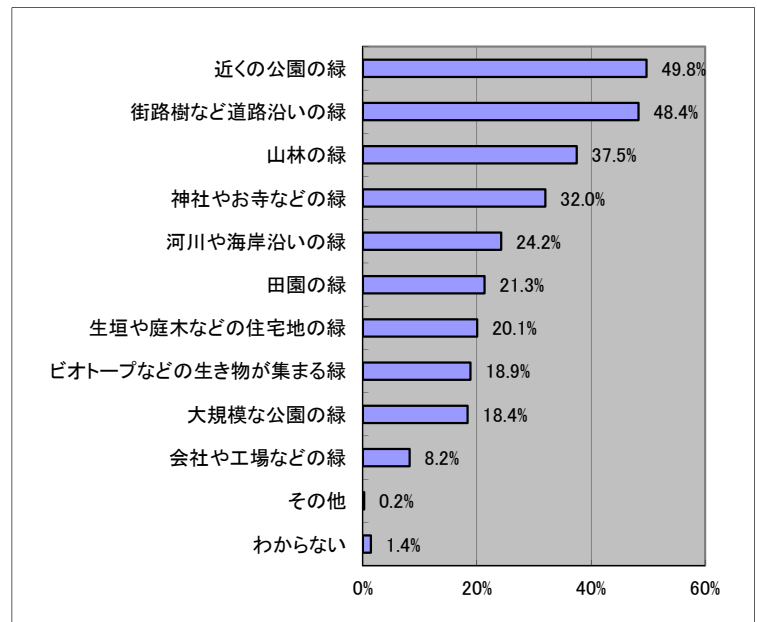
Q2 お住まいや職場、学校など身近な緑に満足しているか。(1つ選択)

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 満足 | 13.5% |
| (2) まあ満足 | 51.6% |
| (3) どちらともいえない | 18.6% |
| (4) やや不満 | 12.2% |
| (5) 不満 | 4.2% |



Q3 今後どのような緑を大切にしたいか。(3つまで)

- | | |
|----------------------|-------|
| (1) 近くの公園の緑 | 49.8% |
| (2) 大規模な公園の緑 | 18.4% |
| (3) 神社やお寺などの緑 | 32.0% |
| (4) 街路樹など道路沿いの緑 | 48.4% |
| (5) 河川や海岸沿いの緑 | 24.2% |
| (6) 会社や工場などの緑 | 8.2% |
| (7) 生垣や庭木などの住宅地の緑 | 20.1% |
| (8) ビオトープなどの生き物が集まる緑 | 18.9% |
| (9) 田園の緑 | 21.3% |
| (10) 山林の緑 | 37.5% |
| (11) その他 | 0.2% |
| (12) わからない | 1.4% |



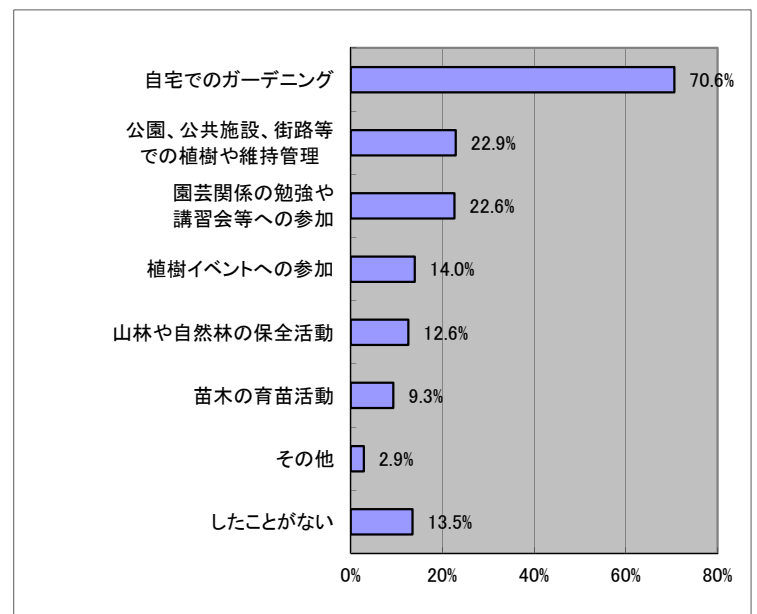
※「その他」の具体的な内容

- ・全ての緑が大切 5件
- ・居住地内の緑 3件
- など 23件

【緑化活動への関わり等について】

Q4 これまでどのような緑化活動に関わったことがあるか。(3つまで)

- | | |
|--------------------------|-------|
| (1) 公園、公共施設、街路等での植樹や維持管理 | 22.9% |
| (2) 植樹イベントへの参加 | 14.0% |
| (3) 苗木の育苗活動 | 9.3% |
| (4) 山林や自然林の保全活動 | 12.6% |
| (5) 園芸関係の勉強や講習会等への参加 | 22.6% |
| (6) 自宅でのガーデニング | 70.6% |
| (7) したことがない | 13.5% |
| (8) その他 | 2.9% |



※「その他」の具体的な内容

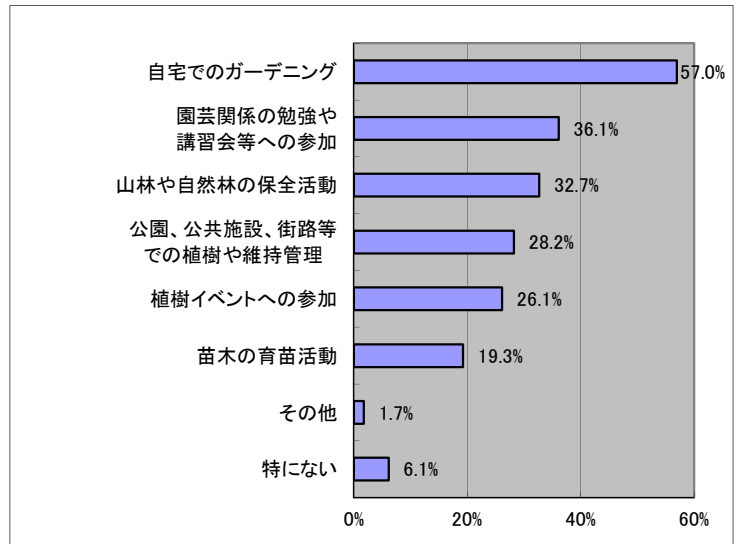
- ・居住地の近辺の緑化 9件
- ・会社のガーデニング 6件
- ・学校樹木の世話 5件
- など 26件

Q5 これから関わってみたい緑化活動は何か。(3つまで)

- | | |
|--------------------------|-------|
| (1) 公園、公共施設、街路等での植樹や維持管理 | 28.2% |
| (2) 植樹イベントへの参加 | 26.1% |
| (3) 苗木の育苗活動 | 19.3% |
| (4) 山林や自然林の保全活動 | 32.7% |
| (5) 園芸関係の勉強や講習会等への参加 | 36.1% |
| (6) 自宅でのガーデニング | 57.0% |
| (7) 特にない | 6.1% |
| (8) その他 | 1.7% |

※「その他」の具体的な内容

- ・居住地の近辺の緑化 5件
- ・商店街、繁華街の緑化 2件
- など 27件

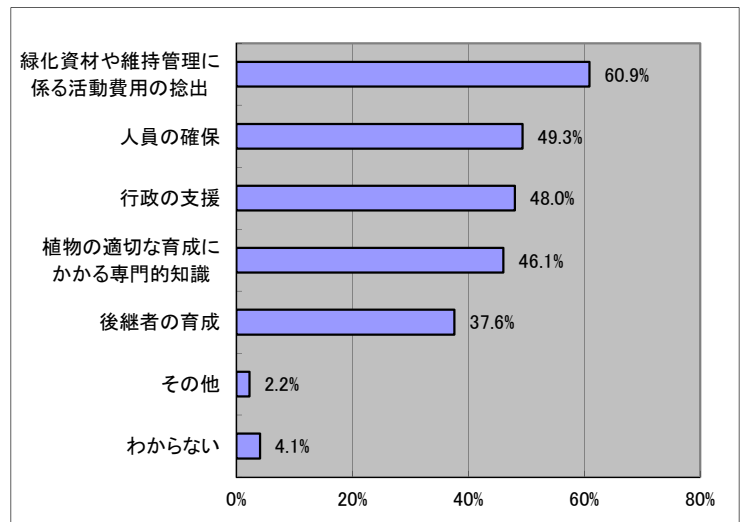


Q6 地域の緑を守り育てる活動において、特に何が課題と思うか。(3つまで)

- | | |
|-------------------------|-------|
| (1) 人員の確保 | 49.3% |
| (2) 緑化資材や維持管理に係る活動費用の捻出 | 60.9% |
| (3) 後継者の育成 | 37.6% |
| (4) 植物の適切な育成にかかる専門的知識 | 46.1% |
| (5) 行政の支援 | 48.0% |
| (6) その他 | 2.2% |
| (7) わからない | 4.1% |

※「その他」の具体的な内容

- ・緑化に対する意識 10件
- ・緑化に対する教育 6件
- ・緑化活動の広報 6件
- など 50件



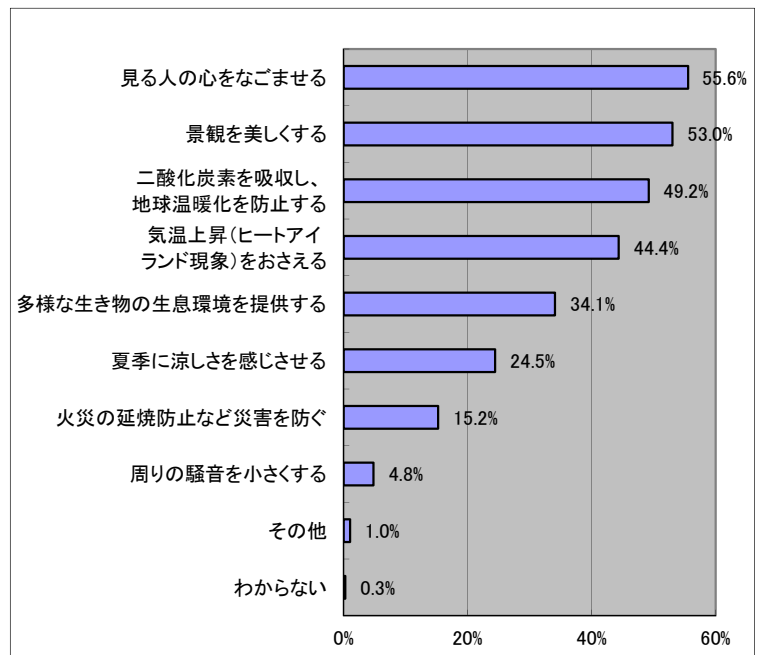
【緑の役割等について】

Q7 街なかの緑が持つ機能で、特に重要と思うものは何か。(3つまで)

- | | |
|---------------------------|-------|
| (1) 景観を美しくする | 53.0% |
| (2) 見る人の心をなごませる | 55.6% |
| (3) 火災の延焼防止など災害を防ぐ | 15.2% |
| (4) 夏季に涼しさを感じさせる | 24.5% |
| (5) 周りの騒音を小さくする | 4.8% |
| (6) 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する | 49.2% |
| (7) 気温上昇(ヒートアイランド現象)をおさえる | 44.4% |
| (8) 多様な生き物の生息環境を提供する | 34.1% |
| (9) わからない | 0.3% |
| (10) その他 | 1.0% |

※「その他」の具体的な内容

- ・安心感を感じる 3件
- ・季節感が養われる 2件
- など 17件

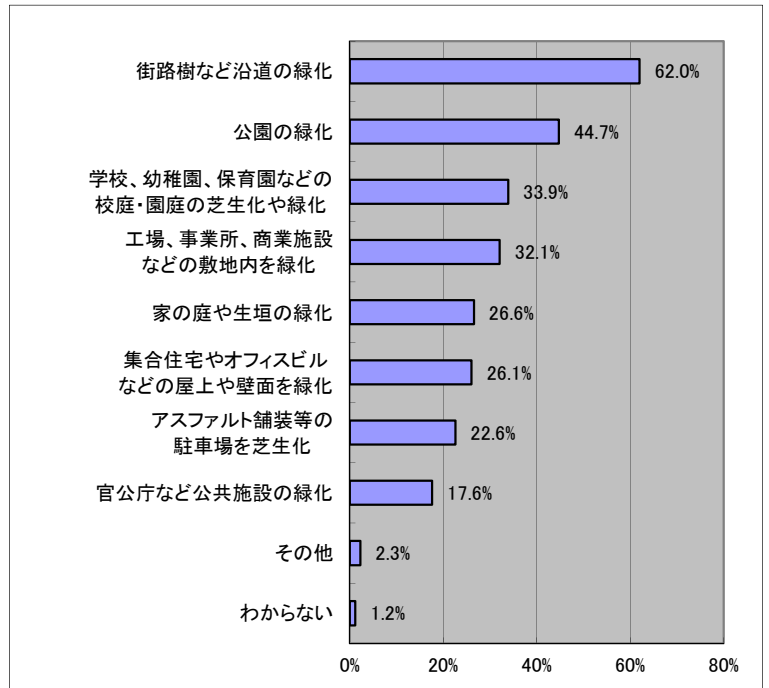


Q8 街なかの緑を増やすために、特に緑化を進めていくべきところはどこかと思うか。(3つまで)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| (1) 家の庭や生垣の緑化 | 26.6% |
| (2) 街路樹など沿道の緑化 | 62.0% |
| (3) 工場、事業所、商業施設などの敷地内を緑化 | 32.1% |
| (4) 集合住宅やオフィスビルなどの屋上や壁面を緑化 | 26.1% |
| (5) アスファルト舗装等の駐車場を芝生化 | 22.6% |
| (6) 学校、幼稚園、保育園などの校庭・園庭の芝生化や緑化 | 33.9% |
| (7) 公園の緑化 | 44.7% |
| (8) 官公庁など公共施設の緑化 | 17.6% |
| (9) わからない | 1.2% |
| (10) その他 | 2.3% |

※「その他」の具体的な内容

- | | |
|---------|-----|
| ・バス停や駅前 | 3件 |
| ・緑のカーテン | 2件 |
| など | 36件 |

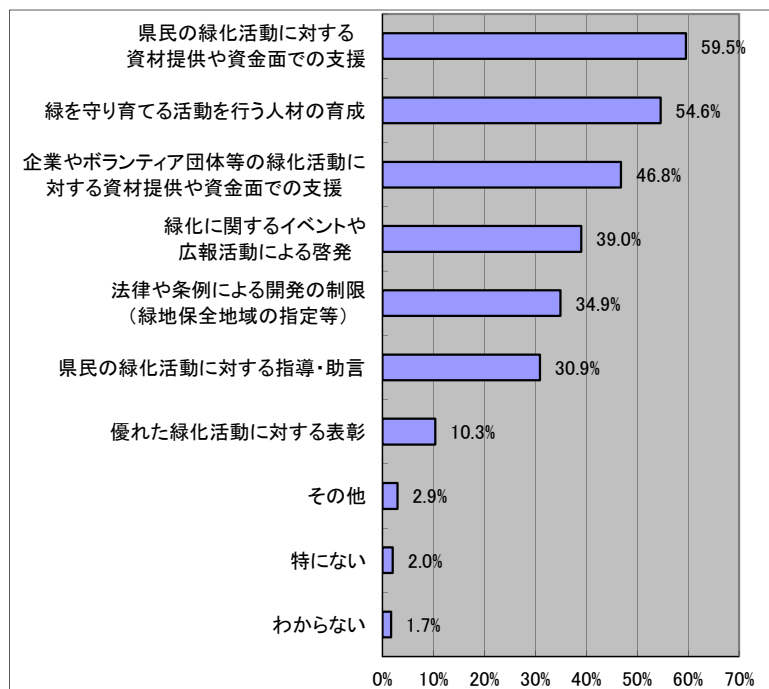


Q9 街なかの緑化を進めるために、行政にどのような取組を望んでいるか。(いくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| (1) 県民の緑化活動に対する指導・助言 | 30.9% |
| (2) 県民の緑化活動に対する資材提供や資金面での支援 | 59.5% |
| (3) 企業やボランティア団体等の緑化活動に対する資材提供や資金面での支援 | 46.8% |
| (4) 緑を守り育てる活動を行う人材の育成 | 54.6% |
| (5) 緑化に関するイベントや広報活動による啓発 | 39.0% |
| (6) 優れた緑化活動に対する表彰 | 10.3% |
| (7) 法律や条例による開発の制限(緑地保全地域の指定等) | 34.9% |
| (8) 特にない | 2.0% |
| (9) わからない | 1.7% |
| (10) その他 | 2.9% |

※「その他」の具体的な内容

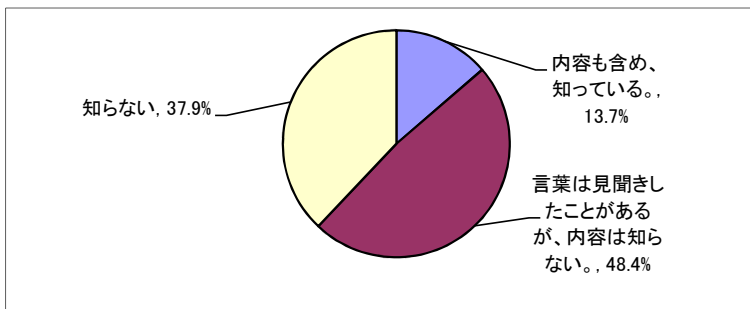
- | | |
|-------------------|-----|
| ・地域活動に参加させる仕組みづくり | 5件 |
| ・啓発活動やイベントの開催 | 3件 |
| ・種や苗の配布 | 3件 |
| など | 43件 |



【総合治水について】

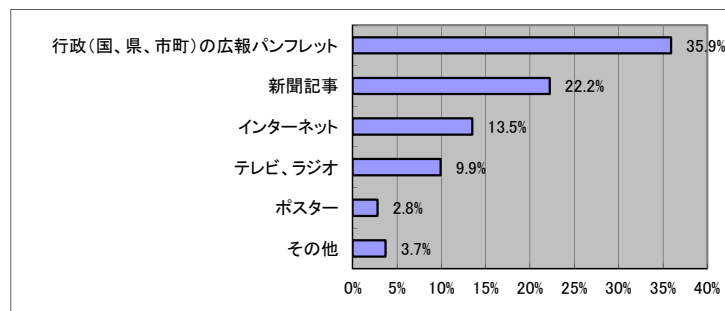
Q10 「総合治水」とは、「河川下水道対策」「流域対策」「減災対策」を組み合わせた浸水対策をいうが、知っているか。

- (1) 内容も含め、知っている。 13.7%
- (2) 言葉は見聞きしたことがあるが、内容は知らない。 48.4%
- (3) 知らない 37.9%



Q11 「総合治水」を何で知ったか。(いくつでも)

- (1) 新聞記事 22.2%
- (2) テレビ、ラジオ 9.9%
- (3) インターネット 13.5%
- (4) 行政(国、県、市町)の広報パンフレット 35.9%
- (5) ポスター 2.8%
- (6) その他 3.7%

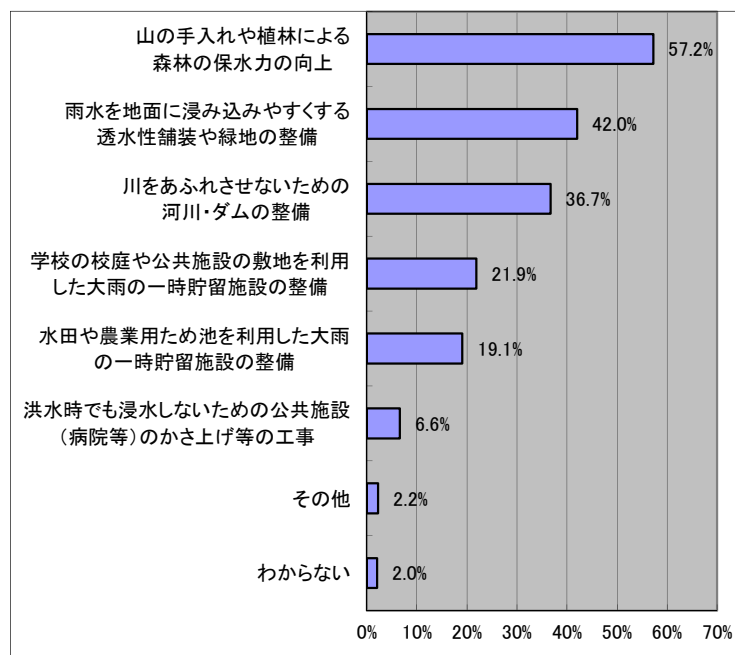


※「その他」の具体的な内容

- ・武庫川河川敷の掲示板やパンフレット 4件
- ・仕事関係 など 40件

Q12 ハード対策で、浸水の被害を少なくするため、特に必要と思う行政の取組は何か。(2つまで)

- (1) 川をあふれさせないための河川・ダム
の整備 36.7%
- (2) 学校の校庭や公共施設の敷地を利用した大雨の一時貯留施設の整備 21.9%
- (3) 水田や農業用ため池を利用した大雨の一時貯留施設の整備 19.1%
- (4) 雨水を地面にしみ込みやすくする透水性舗装や緑地の整備 42.0%
- (5) 山の手入れや植林による森林の保水力の向上 57.2%
- (6) 洪水時でも浸水しないための公共施設(病院等)のかさ上げ等の工事 6.6%
- (7) わからない 2.0%
- (8) その他 2.2%



※「その他」の具体的な内容

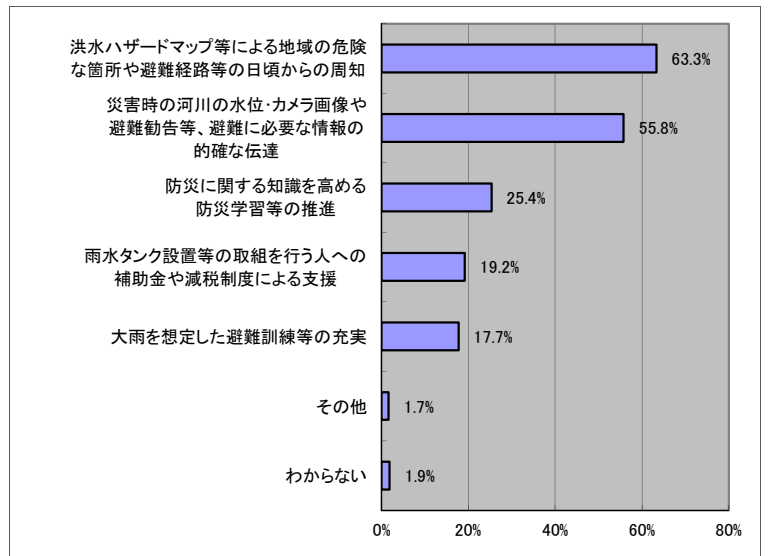
- ・河川・溝の清掃や土砂掘削 5件
- など 36件

Q13 ソフト対策で、浸水の被害を少なくするため、特に必要と思う行政の取組は何か。(2つまで)

- | | |
|--|-------|
| (1) 洪水ハザードマップ等による地域の危険な箇所や避難経路等の日頃からの周知 | 63.3% |
| (2) 災害時の河川の水位・カメラ画像や避難勧告等、避難に必要な情報の的確な伝達 | 55.8% |
| (3) 防災に関する知識を高める防災学習等の推進 | 25.4% |
| (4) 大雨を想定した避難訓練等の充実 | 17.7% |
| (5) 雨水タンク設置等の取組を行う人への補助金や減税制度による支援 | 19.2% |
| (6) わからない | 1.9% |
| (7) その他 | 1.7% |

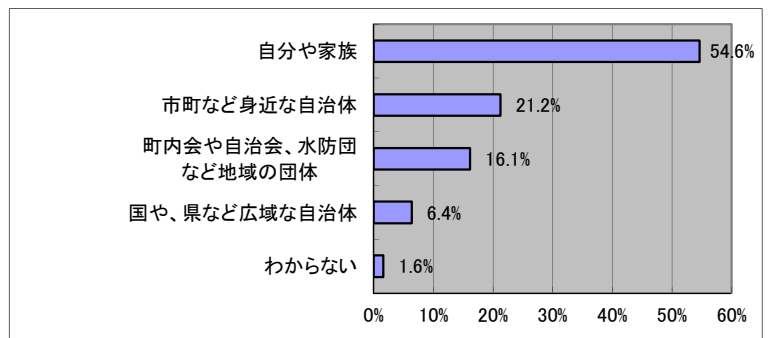
※「その他」の具体的な内容

- | | |
|----------------|-----|
| ・防災に対する教育や避難訓練 | 3件 |
| ・排水路の清掃・増設 | 2件 |
| ・ハザードマップの整備 | 2件 |
| など | 25件 |



Q14 水害に備え、自分や家族を守るために、誰が最も主体的に活動すべきか。

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) 自分や家族 | 54.6% |
| (2) 町内会や自治会、水防団など地域の団体 | 16.1% |
| (3) 市町など身近な自治体 | 21.2% |
| (4) 国や、県など広域な自治体 | 6.4% |
| (5) わからない | 1.6% |



Q15 「総合治水」の取組で、自分でもできると思うものは何か。(いくつでも)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| (1) 自宅や事業所に雨水をためる設備(家庭用雨水タンクなど)の設置 | 33.3% |
| (2) 自宅や事業所を水害から守る耐水化 | 14.7% |
| (3) 災害時に備えた、自宅や事業所周辺の浸水範囲や避難所の確認 | 70.2% |
| (4) 災害時の、降雨や水位の情報の把握 | 55.8% |
| (5) 大雨や洪水を想定した避難訓練への参加 | 43.7% |
| (6) 水害に備えた保険(兵庫県のフェニックス共済など)への加入 | 21.2% |
| (7) わからない | 3.2% |
| (8) できる取組はない | 1.0% |

※「その他」の具体的な内容

- | | |
|--------------|-----|
| ・自分のことは自分で守る | 9件 |
| ・情報収集 | 7件 |
| など | 74件 |

